

はじめに

はじめまして。この本を見ていただき、ありがとうございます。

まずは、自己紹介。大阪出身の26歳(2023年執筆時)。会社員をしながらこの本を書いています。自分ビジネスを始めたいと思い、進めていたタイピングで執筆活動ができていることはとても嬉しく思います。また、わたしの今までの経験が、読んでいただいた皆さんの「自分らしい人生を貫いて、現実世界で創造していくこと」へのヒントになれば、とてもとても嬉しいです。同じく、いろいろな制限があるなかで、自分の思いや望みをそのまま実現していくことは、とてもこわく、とても勇気のいることだと思います。

常に自己と闘うことが必要になり、生まれてから大人になるまでに形成されてきたものを脱ぎ捨て、本来の自己を思い出していかなければなりません。

でも、本当にこのままでいいのかな? と気づきはじめている方は、きっと、「世間や社会の制限を

脱ぎ捨てて、自分を生きること」それを実現したいと、魂が望みはじめているタイミングなんじゃないかな。

自分を生きるとはなんなのか。巷でも言われているライフデザインとはなんなのか。

別にそんな「自分を貫いて生きようぜ」とかつこいいことを言っているわけでもないのですが、社会が変わりつつあるなかで、一人ひとりが自分の望みに気づいて、望み方をこの現実世界でわかることができ、その望みで生きることができるようになればと思います。

「上司にいろいろ言われながら、おもしろくない仕事をして、毎日なんのために仕事をするのか。はあ。8時間も労働して、こんな暑い中出社して、残業までして……」

「今までそのまま順調に生きてきたけど、なんだかこれでいいのか？ 年収を上げてお金も稼いできた。会社のために、家庭のためにやってきた。でも、あれ？ 俺の人生ってなんだつけ？」

小さいころ、「あれがしたいからする!! 仮面ライダーになる!!」という純粋な思いで行動してきたあのころを少し思い出しては、缶ビール片手に資料を作る毎日。

そんな社会の中で、

「したいことはなんでもできる。望んでいいんだ」

ということに一人ひとりが気づき、自分への愛に目覚め、それらを実現していく術こそが、自分を愛するということなのです。

年収600万円だから安定とか、朝早くから出社しているからすごいとかでもありません。

お金を稼ぐこともなく、時間を守ることもなく、

「お金や時間という制限を脱ぎ捨てたところで、いかに自分らしく生きるのか」

ということが、愛で稼いで、愛に生きる社会へと変わっていくんじゃないかな、とわたしの願望ですが、そう思っています。

この制限された世の中で、自分の愛の実現に向けて、皆さんと一緒にチャレンジできたらいいな。

そうすればきっと、愛ある世界に変わるんじゃないかなと早く広めたいと思いつつも、正直まだ自分のことで手いっぱいです（笑）。

でも、わたしが愛を見つけて実現するまでの過程が、だれかが自分の愛を見つけるきっかけになれば、それこそが「愛の伝染」となって、愛ある世界へと変わる一歩になると信じています。